

ICTを活用した新たな街づくり モデルの在り方について (案)

ICTの変化を踏まえた街の進化

ICTを活用した街の変革 〔ICTの利活用の促進〕

- ◆ 公共サービス
- ◆ 防災
- ◆ 教育
- ◆ 医療・福祉
- ◆ 農林水産業
- ◆ 防犯
- ◆ 交通



ICTを活用した「街経営」

街情報や官民が持つ位置情報など多種膨大なデータの活用

ICTを活用した新たな街づくり

異変の察知や将来の変化の予測等により、街機能のマネジメントを弾力化

- ・弾力的に進化する街
- ・災害に強い安全な街

地域間や業種間で情報がつながり、街活動活性化や魅力的な街づくりを実現

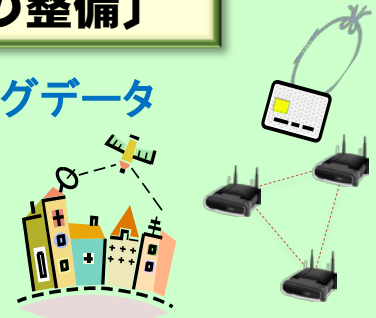
- ・住民の声や行動が街づくりに反映され、住民への情報提供が行き届いた街
- ・住民のニーズや感情を理解する街
- ・誰もが住みたく、訪れたい魅力ある街

各種データを活用し、社会インフラの再構築や街活動の効率化を実現

- ・ライフサイクルコストが低減された効率的な街
- ・温もりのあるコミュニティ

街づくりにおけるICTの整備 〔ICTインフラの整備〕

- ◆ ブロードバンド
- ◆ ワイヤレス
- ◆ センサ
- ◆ クラウド
- ◆ スマートID
- ◆ ビッグデータ



【既存インフラの有効活用、新技術の積極的活用】

これからの街

センサ等で収集した多種多量の情報が、地域間や利用分野間で流通・連携し、街の機能の効率化、街の魅力向上、新たなビジネスや産業の創出等に寄与。弾力的・永続的に進化する街を実現。

ICTを活用した新たな街づくりモデルの考え方

街			街の情報		ヒト			モノ	
			街づくりの主体		企業	住民-企業	住民	施設-機器	人-施設-機器
					これまでの企業の枠を超えた 新たな街ビジネスを起す	住民参加による共助・自助など 新たな街経営への転換を促す		新たな街インフラマネジメント への転換を促す	
街共有財の保全	Public Utility	Transportation			<ul style="list-style-type: none"> カーシェア等共同利用(ICカード) 	<ul style="list-style-type: none"> 設備状況のモニタリング(Webカメラ、GIS) 	<ul style="list-style-type: none"> 公共交通ナビゲーション(GPS、プロープ) 		
		Supply & Disposal			<ul style="list-style-type: none"> エコポイント・基金(データベース) ボランティア(データベース) 	<ul style="list-style-type: none"> CEM(スマートグリッド) 	<ul style="list-style-type: none"> エコライフモニタリング(デジタルサイネージ) 		
	Commons	Environment			<ul style="list-style-type: none"> 在来メディアとSNS等による災害時通信(ホワイトスペース) 	<ul style="list-style-type: none"> 防犯・防災監視(Webカメラ、GIS) 	<ul style="list-style-type: none"> 防災警報システム(モバイル) 		
		Safe and Secure			<p>新サービス創出型 「組織」と「個人(市民、消費者)」のコラボレーション</p>				
居住環境や街機能向上	Neighborhood	Residence	<p>新産業創出型 従来の「組織」の枠を超えたサービスチェーン</p>	<ul style="list-style-type: none"> 単身高齢者の買物・配送(マッチング、SNS) 	<ul style="list-style-type: none"> 子育てサポーター(マッチングシステム、SNSなどコミュニケーションシステム) 	<ul style="list-style-type: none"> HEM(スマートメーター) 	<ul style="list-style-type: none"> 子ども居場所モニタリング(GPS) 単身高齢者福祉見守り(Webカメラ、センサ) 		
		Community center	<ul style="list-style-type: none"> 電子教科書、電子図書館(デジタルアーカイブ) 遠隔医療、医療・介護連携(データベース、データ連携、画像配信) 	<ul style="list-style-type: none"> 個人の健康・医療情報管理(データベース、データ連携、画像配信) 公共サービス・プロモーション(SNS、ホワイトスペース、デジタルサイネージ) 	<ul style="list-style-type: none"> 情報制作・参加サービス(SNS、ホワイトスペース、デジタルサイネージ) 				
	Civic Center	Civil Service	<ul style="list-style-type: none"> 地域特産品のブランディング、パッケージング(EC) 	<ul style="list-style-type: none"> オンデマンド仕入・販売(センシング、EC) イベント等集客ソフト、映像配信(参加型アプリ、ホワイトスペース) 	<p>ソーシャルコミュニティ型 個人と個人のコラボレーション</p>	<ul style="list-style-type: none"> BEM、FEM(スマートメーター) 建物や駐車場の遠隔監視(センシング) 建機の稼働監視(センシング) 	<p>まちづくりマネジメント型 ユーザー情報フィードバック</p>		
		Commerce	<ul style="list-style-type: none"> 地元企業ポータル(SNS、EC) 中小企業経営クラウド(クラウド、SaaS) 地域SCM(RFID) 		<p>街センシング型 定点情報 時系列管理</p>	<ul style="list-style-type: none"> 高付加価値農産品生産(センシング、トレーサビリティ) 			
街の産業振興	Industry	Industry	<ul style="list-style-type: none"> 地元企業ポータル(SNS、EC) 中小企業経営クラウド(クラウド、SaaS) 地域SCM(RFID) 						
		Agriculture	<ul style="list-style-type: none"> 高付加価値農林水産品流通(EC) 						

ICTを活用した新たな街づくり

- ▷ センサ等で収集した多種多量の情報が、地域間や利用分野間で流通・連携し、街の機能の効率化、街の魅力向上、新たなビジネスや産業の創出等に寄与。弾力的・永続的に進化する街を実現。

街を構成する様々な情報と街づくりの主体(住民・企業・行政)の視点から、モデルを検討

1. 街の魅力化

☞ 住民による共助や組織との連携など新たな街サービス

- ① コミュニティの活性化で絆が深まる街づくり
- ② 新サービスの創出で魅力高まる街づくり

2. 街の活性化

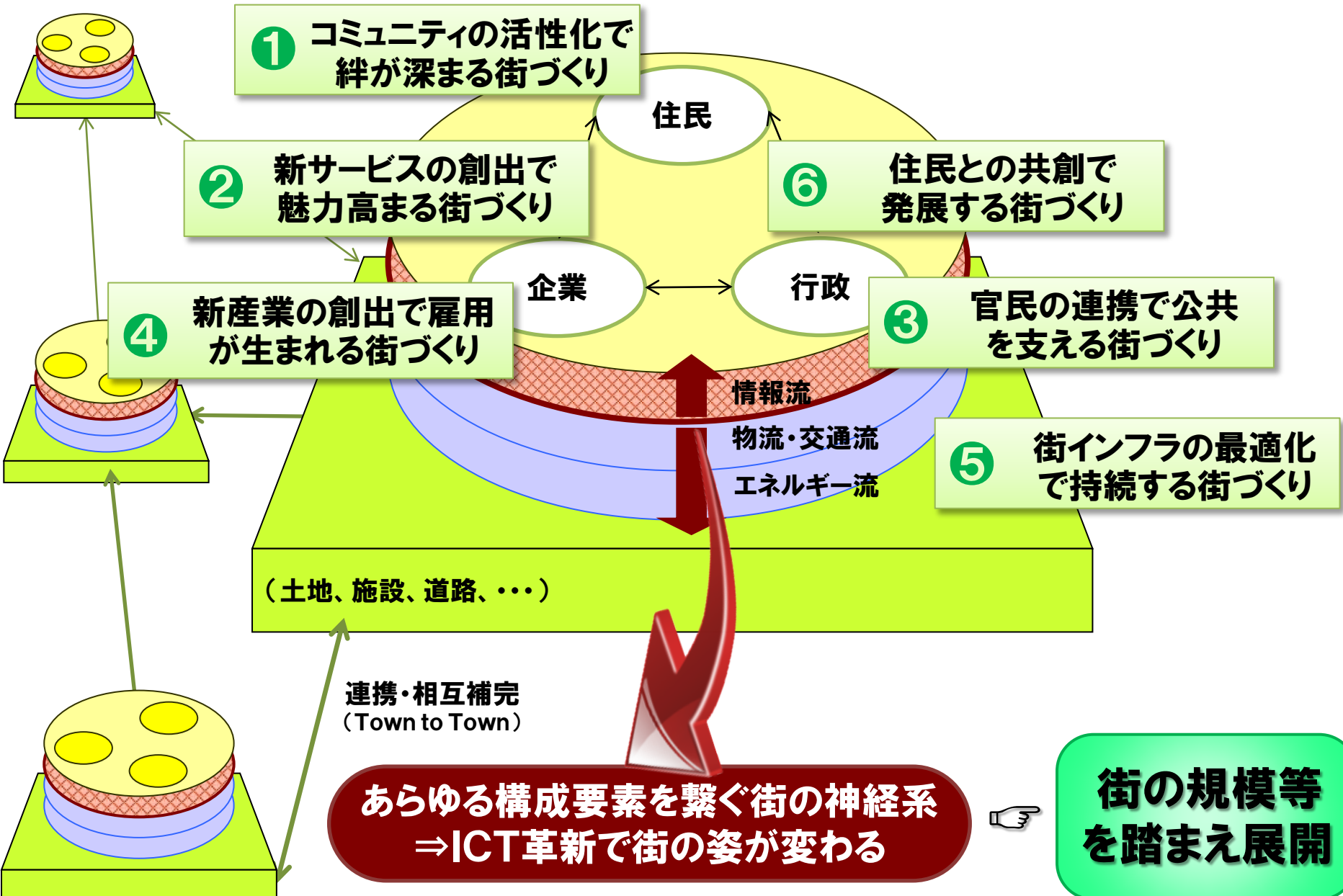
☞ 行政や企業など組織の枠を超えた新たな街ビジネス

- ③ 官民の連携で公共を支える街づくり
- ④ 新産業の創出で雇用が生まれる街づくり

3. 街の効率化

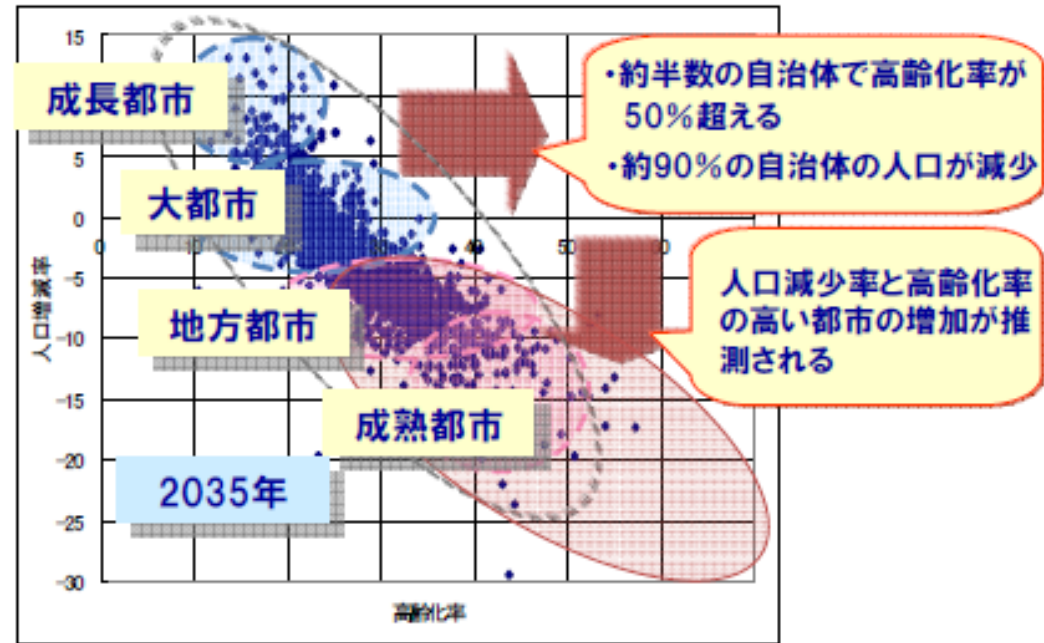
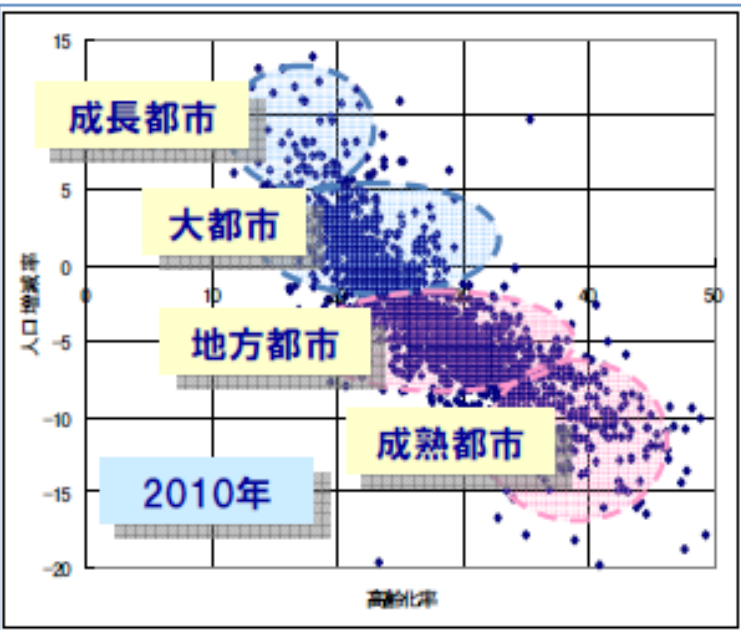
☞ 住民の参加や将来予測など新たな街マネジメント

- ⑤ 街インフラの最適化で持続する街づくり
- ⑥ 住民との共創で発展する街づくり



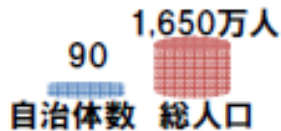
街の規模等を踏まえ、ICTを活用した新たな街づくりモデルを展開

2010年度国勢調査をもとに、人口増減率(対2005年比)と高齢化率(2010年)から4つに類型化



成長都市

- ・新興ベッドタウン、再開発地域
- ・交通の便が良い
- ・若いファミリー層が多い



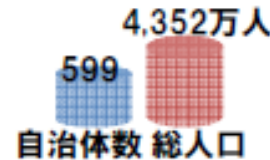
大都市

- ・県庁所在地、政令指定都市
- ・若者が多い
- ・人口が集中



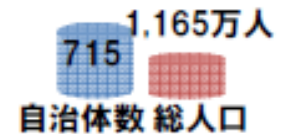
地方都市

- ・地域の2番目以下の都市
- ・産業変化による人口減少地域



成熟都市

- ・一次産業中心
- ・高齢化・過疎化の進行地域



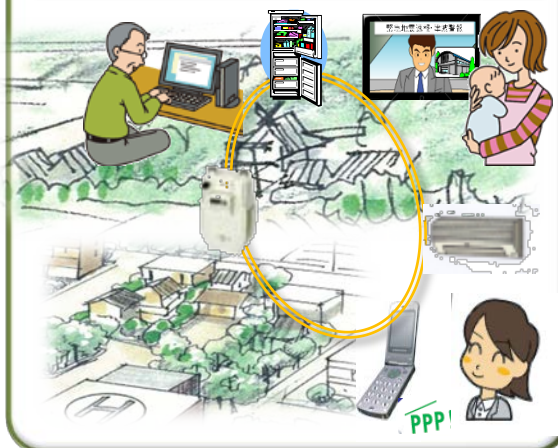
①「コミュニティの活性化で絆が深まる街づくり」モデルのイメージ

基本的な考え方

コミュニティを形成する高齢者等の街情報について、住民間における共有等の活用を可能とすることにより、住民参加による共助などを通じた街づくりを実現。

実現イメージ

单身生活者等の見守り



移動手段の共同利用



情報発信による交流



必要な街情報

【例】

- ☞ デジタル・白物家電のON・OFF
- ☞ 通信・放送サービスの利用状況
- ☞ 水道・ガス等の使用状況

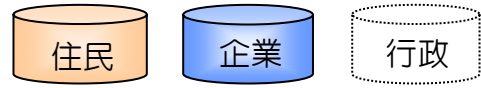
【情報の保有主体】



【例】

- ☞ 自動車のプローブ情報
- ☞ 自転車の走行状況
- ☞ 乗客の位置情報

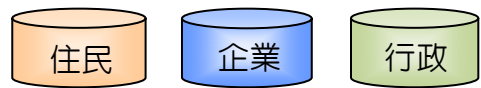
【情報の保有主体】



【例】

- ☞ 経歴等のプロフィール情報
- ☞ コメント・メッセージ等の書込情報
- ☞ 友人等とのつながり状況

【情報の保有主体】



担い手

【例】

行政、防犯事業者、公益事業者

【例】

行政、交通事業者、デベロッパー

【例】

行政、SNS事業者、観光事業者

①「コミュニティの活性化で絆が深まる街づくり」モデルの効果等

実現による効果（例）

- 独居老人等の孤立死の減少
- 住民ボランティアの増加
- 公共交通機関や徒歩等への移行
- 自動車等の保有台数の削減
- 二酸化炭素排出量の削減
- 自治体の収入増による財政の改善
- 地域に関する情報の普及・新たな入手
- 新たな友人の増加や知人との関係の深まり



「コミュニティの活性化で絆が深まる街づくり」モデルの実現に向けて、今後、課題・推進方策について整理が必要。

③「官民の連携で公共を支える街づくり」モデルのイメージ

基本的な考え方

行政機関等が有する様々な情報について、民間企業等がもつ情報との連携を可能にしたり、民間企業による再利用を容易にする等により、新規ビジネス等を創出する街づくりを実現。

実現イメージ

手続の簡略化・手段の多様化



行政データのオープン活用



民間データの公共活用



必要な街情報

【例】

- ☞ 本人のID・属性情報
- ☞ 企業等組織の共通ID情報
- ☞ 本人証明情報

【情報の保有主体】

住民 (実線) 企業 (実線) 行政 (実線)

【例】

- ☞ 統計情報
- ☞ 公共施設情報
- ☞ 地図情報

【情報の保有主体】

住民 (点線) 企業 (点線) 行政 (実線)

【例】

- ☞ 顧客・会員に関する情報
- ☞ 統計情報
- ☞ 企業活動情報

【情報の保有主体】

住民 (点線) 企業 (実線) 行政 (点線)

担い手

【例】

行政、公益事業者、金融機関

【例】

行政、ウェブ事業者、研究機関

【例】

行政、調査会社、自動車メーカー

③「官民の連携で公共を支える街づくり」モデルの効果・課題

実現による効果（例）

- プッシュ型によるきめ細かなサービス提供
- ワンストップによる住民・企業の利便性向上
- 行政における窓口対応の負担軽減
- データ活用アプリケーション産業の創出
- 行政運営の透明性の向上
- 政策形成への住民参加の促進
- 総合的なデータに基づく行政運営
- 企業における行政手続負担の削減



「官民の連携で公共を支える街づくり」モデルの実現に向けて、今後、課題・推進方策について整理が必要。

⑤「街インフラの最適化で持続する街づくり」モデルのイメージ

基本的な考え方

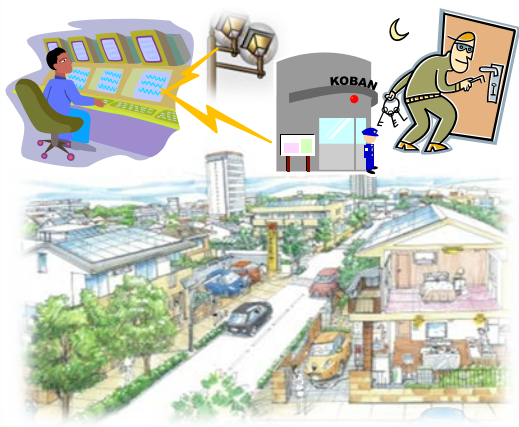
地図情報やインフラ情報等の街情報について、街全体での一元管理やリアルタイムでの共有等により、安心・安全で効率的な街づくりを実現。

実現イメージ

最適な街計画の策定



安心できる防犯体制の構築



安全・効率的な設備管理



必要な街情報

【例】

- ☞住所や位置情報等の住民情報
- ☞GIS等の街空間情報
- ☞駅・役所等の施設の配置情報

【情報の保有主体】



【例】

- ☞防犯カメラ等の映像・位置情報
- ☞場所毎の犯罪発生履歴情報
- ☞警官等の配置情報

【情報の保有主体】



【例】

- ☞設置場所や竣工日等の設備情報
- ☞通行車や地震による揺れ等の状況
- ☞設備管理者等の配置・連絡先情報

【情報の保有主体】



担い手

【例】

行政、交通事業者、公益事業者

【例】

行政、防犯事業者、デベロッパー

【例】

行政、建設事業者、交通事業者

⑤「街インフラの最適化で持続する街づくり」モデルの効果・課題

実現による効果（例）

- コンパクト化による街の活性化
- 公共交通機関や徒歩等への移行
- 駅・役所等公共施設の最適な配置
- 人口動態に即した防災計画の策定
- 要員配置の柔軟化・犯体制の効率化
- 検挙率の向上・犯罪発生件数の減少
- 施設管理のライフサイクルコストの削減
- 高精度の設備管理による安全性確保



「街インフラの最適化で持続する街づくり」モデルの実現に向けて、今後、課題・推進方策について整理が必要。

今後の検討の進め方

センサ等で収集した多種多量の情報が、地域間や利用分野間で流通・連携し、街の機能の効率化、街の魅力向上、新たなビジネスや産業の創出等に寄与。弾力的・永続的に進化する街を実現。

ICTを活用した新たな街づくりモデル

- ① コミュニティの活性化で絆が深まる街づくり
- ② 新サービスの創出で魅力高まる街づくり
- ③ 官民の連携で公共を支える街づくり
- ④ 新産業の創出で雇用が生まれる街づくり
- ⑤ 街インフラの最適化で持続する街づくり
- ⑥ 住民との共創で発展する街づくり

地域懇談会

2015年頃までに国内において 実現すべきモデル

- ☞ 実現により見込まれる経済的効果・社会的効果
- ☞ 実現に向けた課題
- ☞ 実現のための推進方策

2020年頃までに海外も含めた 拡張性を考慮したモデル

- ☞ 街同士の連携・相互補完を見据えた共通基盤的モデルの在り方
- ☞ モデルのグローバル展開方策